

第二回 IT 活用研究会(大阪) 議事録

日時:	2010/12/10(金) 14:00~17:00
会場:	大阪丸紅ビル 13F E 共用会議室
テーマ:	仮想デスクトップサービス利用の事例
講師:	株式会社インターネットイニシアティブ マーケティング本部 GIO マーケティング部 小川 晋平 氏
司会・進行:	IT 活用研究会座長 ニッタ株式会社 コーポレートセンター 経営企画グループ 船堂 晃 氏

※当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

クラウドによる DaaS 導入の実現性について様々な見地から可能性を追求する議論となった。

【コストについて】

- ・一番気になる部分である。現状の PC 利用における見えにくい管理工数などのコストが見えるか？ 出来ている場合は、その比較においての検討の対象になる。しかしそのコストが見えていないと難しい。
- ・月額課金になるので長く利用することで利用期間のトータルコストはもちろん高くなる。しかし、高性能でない既存の PC を利用しても導入はできるのでその点ではハードルが低い。

【管理面】

- ・サーバ側の仮想デスクトップに集中的に実施するので効率的であらゆる面で効果がある。

【定型業務における利用】

- ・セキュリティ面において、効率を落とさずに維持できる。
- ・しかし、電車で移動中にパワーポイントなどによるプレゼン資料作成などモバイル環境でのクリエイティブな業務を必要とする場合はまだまだ回線スピードが足りない。

【まとめ】

クラウド利用のポイントは、現状分析と目的を明確にすることが成功のポイントである。